

《知》意欲的に学び、課題に粘り強く取り組む児童
《徳》社会のルール・学校のきまりを守り、
礼儀正しく思いやりのある児童
《体》心身ともに健康で、命を大切にす児童

せんだん

珠洲市立上戸小学校
学校だより 第706号
令和6年2月9日

令和6年能登半島地震

上戸小学校長 山岸 修

このたびの能登半島地震で亡くなられた方々へ、ご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方々へ、心よりお見舞い申しあげます。また、被災者の救済と被災地の復興支援のためにご尽力されている方々に深く敬意を表します。

まさか、こんなことになるとは、夢にも思っていませんでした。5月にあんな大きな地震があったから、もう自分の生きている間は、それ以上の地震は来ないだろうと、勝手に思っていました。ところが、1月1日、石川県の能登半島を震源とした大地震が起きました。地震の規模はマグニチュード7.6、震源の深さは16km。観測された最大震度は、石川県輪島市と羽咋郡志賀町で観測された震度7。珠洲市では最大震度6強を観測しました。発災以来、毎日、学校や家でのことを、簡単に記録しています。そこから、抜粋します。

1月1日

1月1日 午後4時ごろ。
2階の自室にいた。スマホが鳴り出すと同時に揺れがはじまる。
今までにない激しい揺れ。しかも長く続く。ずっと揺れ続ける。
正月からやめてくれという気持ち。
やっと揺れがおさまって、階下に行くと、家族はテーブルの下に潜っていた。

とにかく、学校に行かなければならない。
長女の車で送ってもらうことにする。
5分ほど走って、道路の段差に乗り上げてしまう。
前のバンパーがちぎれてしまった。
峠の頂上で皆が車から降りて集まっていたので、話を聞くと、道が寸断されていて、これ以上どこにも行けないとのこと。それならばと引き返して他のルートも行って見たが、峠にとまっていたタクシーのおじさんが「海岸の方は津波がくるから、全員、高台に避難してしまっているよ。」
とのことだった。
やむなく、自宅に戻った。

安否確認をする。
指示はしなくても、職員からはラインで次々と報告が入ってきていた。児童の方はグーグルフォームですることになっている。何人かの児童の安否は確認できた。

上戸町の住民から電話が入る。
津波が来るので、打ち合わせていた通りの箇所から、避難のため、窓ガラスを割って、入っているとのこと。電話が通じるのがなによりだった。

1月2日

午前8時ごろ、軽トラで学校に向かった。
まず、宇出津の町へ行く。

道路があちこち、盛り上がっている。
大きな段差は避ける。小さな段差をゆっくり乗り越える。以上を繰り返しながら、進む。

～中略～

海岸道路を真脇方面にすすむ。
しかし、途中、大きながけ崩れで、道路は完全に封鎖されていた。
車を降りて、そこにいた人に「珠洲に行きたいのだけれど」と聞くと、珠洲道路はなんとか行けるとのこと。また、引き返す。

上町から珠洲道路に入ることに成功した。
途中の山の中の道は比較的、破損していなかった。
最後の峠を越えて下っていく時に、70代くらいの男性が歩いていた。
「どこまでですか。送りますよ。」と声をかけた。
車で能登町の方へ行こうとしたが、タイヤがパンクして動かなくなったということだった。宝立まで送った。

宝立町に近づくにつれて、また、道路のあちこちに亀裂が目立つようになってきた。
なんとか、珠洲市街に入った。あちこちで、家がつぶれている。瓦屋根がめくれている。電柱が斜めになっている。



家を出発してから3時間半。ようやく学校にたどりついた。職員室は物が散乱していた。

印刷室兼給湯室はコップや茶碗が落ちて割れていた。避難所はすでに公民館長や地元の人たちで運営されていた。

電気、水道がとまっている。

体育館は寒くて使えない。

避難されてきた人は教室に入っていた。

約200名、避難しているとのこと。

児童、職員の安否確認にとりかかる。

電話をかけまくった。

上戸出身のN先生が避難してきていた。一緒に職員室と印刷室を片づけた。

2人でやると1人でやるのに比べて4倍くらい早い。あっというまに、だいたい片付いた。

理科室前のメダカの水槽が割れて、水浸しになっている。ただ、わきよせてあったので片づける。

避難されている方が、「これは川の水です。」とバケツの水を持ってきてくれた。

それで、かなりはかどった。

1月3日

1月3日は朝から雨。

普段は25分くらいのところを50分くらいかけて、軽トラで、学校にたどり着く。

玄関に4年生のAさんがいた。笑顔で元気そうだった。タブレットで遊んでいる。

エンジン式の発電機が動いている。延長ドラムコードにたくさんのスマホが繋がれて、充電中だった。

そばに、Aさんの親戚なのだろう、小さな男の子がいた。

女の子が「校長先生だよ。」と自分を男の子に紹介した。するとその男の子が言った。

「そこの（1階の）トイレに行ったけど、でっかいうんちがあって、流れないんだよ。」

見に行ったら、悲惨な状況だった。

ラジオで「避難所のトイレの衛生状態が悪い」とさかんに言っていたが、このことか！！

近くの川からバケツで水を汲んできた。

棒でかき混ぜ、何回も水を入れて、流すことに成功した。

～中略～

人の動きができていった。

そして午前中いっぱい、すべてのトイレの衛生状態の改善が完了した。

午後からN先生と理科室を少し片づけた。落ちて割れたビーカーやフラスコ、メスシリンダーなんかを片づけた。

家庭室の割れた食器などを片づけた。

以下、箇条書きです。

1月4日

- ・自衛隊の方が入る。40名ほどの部隊が上戸小に来ること。
- ・食事の調理を1階の調理場で行う。
- ・トイレも使用の仕方が徹底（袋の中にして、しばって処分）されてきている。
- ・夕方4時30分ごろ電気が復旧した。みんな笑顔だった。



1月5日

- ・グラウンドに自衛隊の部隊が到着する。
- ・児童と職員全員の安否確認が終わった。全員無事。



1月6日

- ・自衛隊風呂の設置が進む。

1月9日

- ・児童や保護者の現状確認をする。
- ・学校周辺の被害状況の確認をする。
- ・通学路の安全点検をする。

1月10日

- ・校内の片付けや清掃をする。
- ・学校再開へ向けて準備をする。

1月11日

- ・15日(月)の学校再開へ向けて職員会議
- ・保護者に学校再開のメールを配信する。

1月12日

- ・学校再開の準備をする。
- ・健康観察のフォームを作り配信する。

～学校再開の歩み～

◆1週目 <1月15日(月)～19日(金)>

学校再開(1/15)

3学期の始業式を行いました。上戸小は避難所になっているため、学習スペースは3階のみです。この日は、10名の児童が登校し、7名の児童がリモートで参加しました。始業式を行ったランチルームでは、子どもたちの校歌の元気な歌声が響きました。3時間目には久しぶりに友達と一緒にレクリエーションを行いました。

「体ほぐし」をしました(1/16)

授業2日目です。それぞれの教室でまずは国語と算数の授業が始まりました。2次避難等で登校できない子は、リモートで授業を受けています。この日の3時間目はみんな「体ほぐし」をしました。

炊き出しをいただいて昼食です(1/18)

この日から、自衛隊の炊き出しをいただくことになりました。この日のメニューは「ごはん、黒胡椒ソースのハンバーグ、いわしの甘辛煮、わかめスープ、パインアップル」でした。温かいご飯や汁物を食べられることに感謝していただきました。

「ポッチャ」で元気に(1/19)



体育館は使えないので、体育の時間には教室でベルマークの点数で購入させていただいた「ポッチャ」をしました。ポッチャはジャックボールと呼ばれる白いボールに赤・青のそれぞれ6球ずつのボールをいかに近づけるかを競うスポーツで、誰もが楽しめます。子ども達はルールをすぐに理解し、ナイスショットには思わず歓声が上がっていました。

◆2週目 <1月22日(月)～26日(金)>

支援物資をいただきました(1/22)

ユニクロから、児童全員に下着とダウンジャケットをいただきました。次の日から早速そのジャケットを着て来る子もいました。

休み時間の過ごし方(1/23)

子ども達は朝、登校すると朝の会を行う理科室に集まり、トランプやウノ等をして遊んでいます。8時15分ごろになると、避難所のラジオ体操の音楽に合わせて体を動かします。上田先生が作って下さったおみくじも好評です。また、トイレは避難者と区別をして、3階を児童専用トイレとして使います。

雪が積もりました(1/24)

この日は雪が積もる寒い日でしたが、子ども達は元気に授業をがんばっています。写真は2年生の国語の授業と3年生の理科の実験の授業の様子です。

応援メッセージが届きます(1/25)

6年生が GTEC という英語のテストを受けました。1年生は数え棒を使って、こんなにかわいい作品を作りました。また、県外から避難所や小学校に向けて応援のメッセージが次々届いています。励ましの言葉にとっても勇気づけられます。

手洗いスタンド(1/26)

手洗いスタンドが各階に1台ずつ設置されました。水をきれいにしながら循環して使える装置です。トイレの後や昼食前に手を洗うことができ、子ども達は気持ちよく過ごすことができました。



◆3週目 <1月29日(月)～2月2日(金)>

トイレトレーラー到着(1/29)

この週から、授業は5限になりました。また、体育館を半分あけてもらい、久しぶりに昼休みに鬼ごっこやバドミントンで体を動かしていました。帰りの会に子ども達に聞くと、全員が体育館で遊んだと言っていました。午後からはトイレトレーラーが3台来ました。トイレトレーラーは水洗なので、外でお手洗いをさせる子も出てきました。



文房具の寄付がありました(1/30)

天気の良い日になりました。JACA様より、一日も早く平常の生活に戻れるようにと文房具一式の寄付をいただきました。後日、さいたま市の押田啓文堂様からも文房具をいただきました。昼食では、自衛隊の炊き出しを理科室に運んで食べるスタイルが定着してきました。また、掃除の時間も自分たちの使っている教室をきれいにしています。



たくさんの先生方が支援に駆けつけてくれています(1/30)

この週より、兵庫県より震災・学校チームEARTHのメンバーの方が火・水・木と授業の支援をして下さっています。また、県教育委員会の支援事業として、2月5日より5・6限に金沢市以南の先生方が支援に来て下さっています。子ども達は、新しい先生とすぐに仲良くなり、昼休みは一緒に遊んでもらったりしながら、元気いっぱい過ごしています。



福島県からスクールカウンセラーの方が来られました(2/2)

文部科学省から派遣された福島県のスクールカウンセラー飯塚先生が、子ども達に心が楽になるエクササイズを教えてくださいました。大の字になって目をつむってリラックスしたり、テニスボールを使って体をほぐしたりしました。今の自分の気持ちはだれでも起こる当然のことだから、がんばりすぎずに踏んばってほしいというお話でした。



◆4週目 <2月5日(月)～2月9日(金)>

授業が6限までになりました(2/5)

開始時間はまだ8時25分ですが、時間割通りの日課になりました。まだ体育館は半分しか使えませんが、限られたスペースで体育の授業をしています。今まで続けてきた話し合いの授業も行っています。また、放課後子ども教室も再開しました。少しずつですが、もとの学校に戻ってきました。



パトカーに乗せてもらいました(2/8)

1年生の生活科で、千葉県警のパトカーに乗せてもらいました。車の中のマイクで話してみたり、パトランプを上下させたりしました。2年生は図工で「段ボールに入ってみると」の単元で家をつくったりしました。友だち同士くっつけたりしながら、楽しんでいました。

